

第110回 全国書道コンクール出品要項

左記のとおり硬筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

一、中学生・小学生・幼年

●課題Ⅱ次ページ掲出課題

●用紙Ⅱ本会選定用紙

○幼・小一年……………四行用紙

○小二年以上……………五行用紙

●用具Ⅱ幼年から小三まではえんぴつ

小四以上は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

一、出品料（一点につき）

会友 六三〇円

中学〜幼年 五三〇円

一、出品締切り

令和八年七月二十三日（木）必着のこと

一、送り先

509-5134 土岐市泉島田町一-三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審査

期日 七月二十九日（水）

午前九時半から

会場 セラトピア土岐

三階第一・第二会議室

一、審査員

認定審査員・及び五十点以上出品の団体責任者に委嘱。

一、褒賞

大賞・準大賞・会友特選（以上会友作品を対象とする）・会長賞※土岐市長賞※同教

育長賞※同市議会議長賞※中日新聞社賞・

大書心会賞・理事長賞・師範会賞・理事奨

励賞・特選・奨励賞・俊英賞・優秀・秀作・

入選・佳作（※印は申請中）

○全員に賞状、賞品を授与します。

○成績優秀な団体には、団体賞を授与します。

一、団体出品

5点以上まとめて出品の場合は団体扱いとなります。特典もあり、その他出品目録が必要となりますから大書心会事務局までお申込み下さい。

▽支局・支部には、予め出品目録を六月号送本時に同送いたしました。

一、成績発表

本誌十月号誌上。（各団体宛にも通知いたします）

※作品展及び授賞式はございません。

一、会長賞受賞者の特典

●六段以下の受賞者は一階級昇格を認めます。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定します。※いずれも八月から昇格します。

一、特別昇級の特典

硬筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。（申請者のみ）

一、その他

○一人何点でも出品できますが、特別賞受賞は一人一点とします。

○出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

○作品は月例競書と同封してもよろしいが必ず混同しないよう、明確に区別して下さい。

▼原寸大手本（コピー）

一枚……五〇円（送料実費）

▼選定用紙（四行・五行用紙とも）

一冊……一〇〇円（送料実費）

※ご注文の節は、「四行」または「五行」とはっきりご指定下さい。



第110回コンクール課題 (テーマ=海と空)

幼 年 (えんぴつ)

う	ひ	や	た
み	ろ	ま	か
	い		い

小 三 年 (えんぴつ)

こ	ど	と	空	鳥
と	ん	べ	を	の
だ	な	た	自	よ
ら	に	な	由	う
う	に	ら	に	に
	楽			
	し			
	い			

小 一 年 (えんぴつ)

ふ	あ	お	大
う	か	さ	ぞ
せ	い	ん	ら
ん		ぼ	

小 四 年 (ペン)

聞	波	耳	き	海
こ	の	に	れ	辺
え	音	あ	い	で
て	が	て	な	拾
き		る	貝	っ
ま		と	が	た
す			ら	

小 二 年 (えんぴつ)

あ	貝	海	兄	き
そ	を	へ	さ	の
ん	ひ	い	ん	う
だ	ろ	っ	と	
	っ	た		
	て			

小 五 年 (ペン)

美	動	形	き	南
し	き	を	り	極
い	続	変	の	地
い	け	え	よ	方
ろ	る	て	う	の
ら		は	に	空
			に	に
			流	
			れ	

小 六 年 (ペン)

船	ゆ	そ	水	七
を	め	こ	の	割
発	を	に	星	が
明	乗	住	と	海
し	せ	む	い	の
た	て	人	わ	地
		間	れ	球
		は	る	は

中 一 年 楷書 (ペン)

す	太	地	新	人
る	陽	球	し	間
に	系	で	い	は
違	を	は	世	や
い	活	な	界	が
な	躍	く	を	て
い	の	つ	つ	宇
	場	く	り	宙
	と			に

中 二・三 年 行書 (ペン)

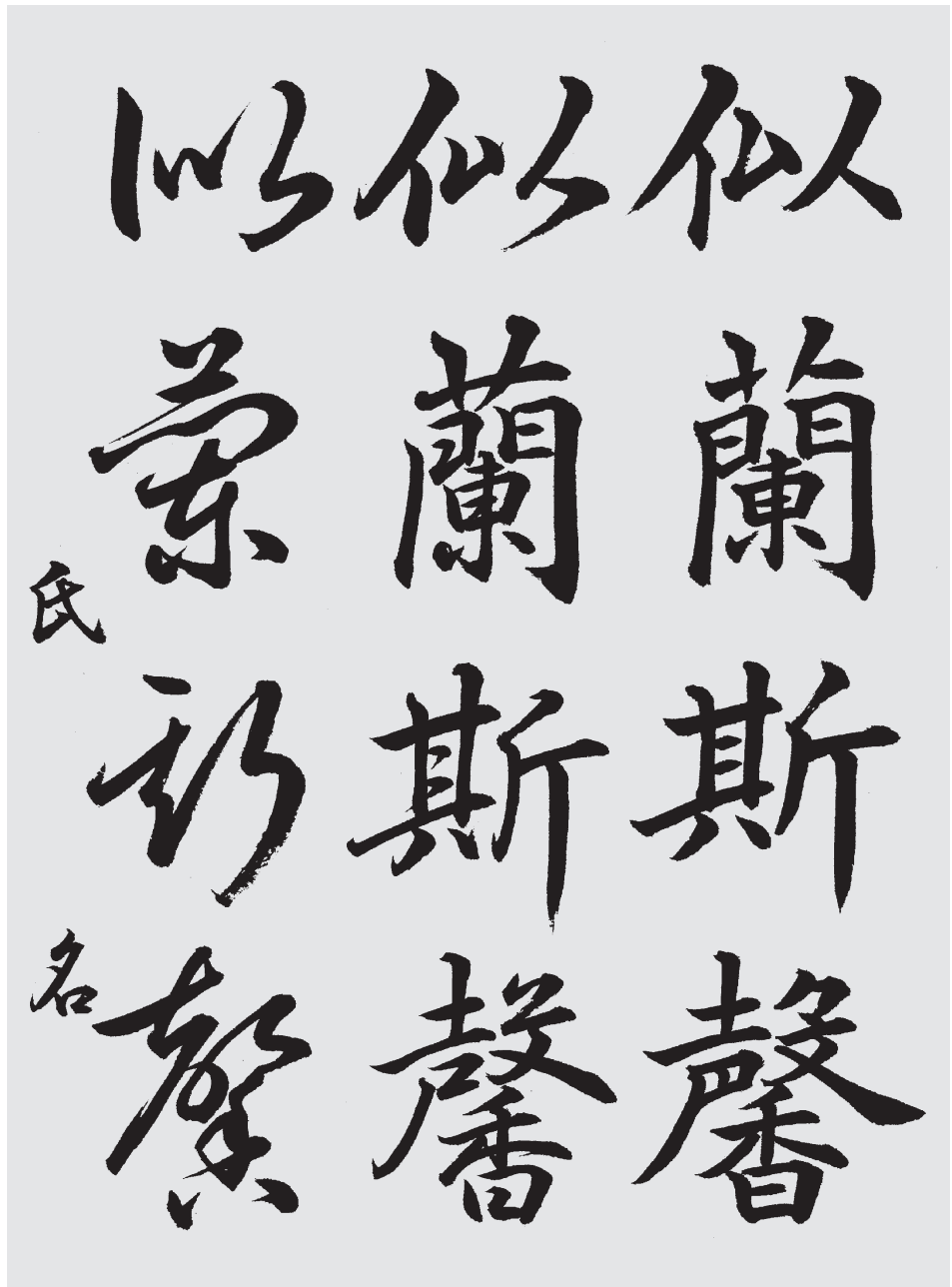
す	太	地	新	人
る	陽	球	し	間
に	系	で	い	は
違	を	は	世	や
い	活	な	界	が
な	躍	く	を	て
	の	つ	つ	宇
	場	く	り	宙
	と			に

※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小五までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

三体千字文を書く(67)

締切り 七月二十三日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

似じ蘭らん斯し馨けい

如じょ松しょう之し盛せい

蘭の香りのように爽やかで、

松の盛んに生い茂るように栄える。

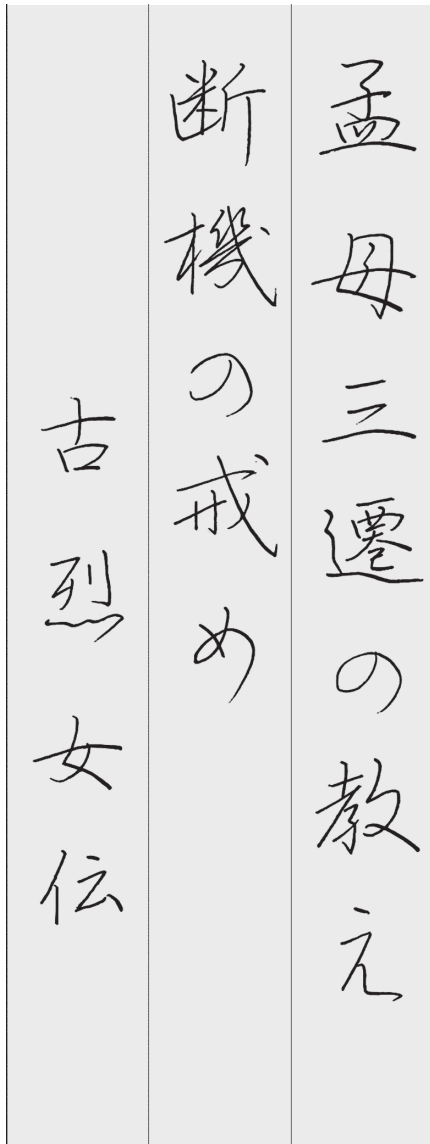
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

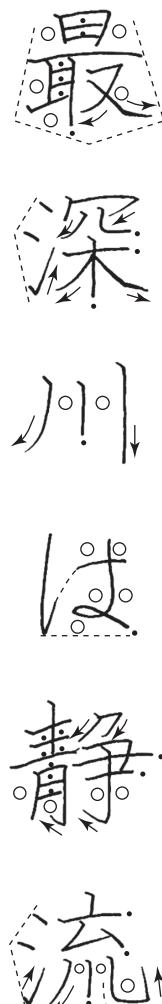


お 尾 郷 翠 光 書

▷用具=自由 (黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



ふる た ずい えん 書

▷用具=自由 (黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆8月課題予告 (行草または草書)
 不得意なもの
 を征服することは
 重要な修練である
 ▼教範・書範 楷書
 ▼師範 行書

★孟母…(書体 行書)
 劉向(前六六、前六)の著といわ
 れる『古烈女伝』より
 中国の偉大なる儒学者『孟子』を育
 けた母の賢母ぶりを示す有名なエピ
 ソード。子どもの教育のためには環境
 が大切であると、三度家を移したのが
 「三遷の教え」。
 学校を早退した孟子の前で、自分が
 織りかけていた機をたち切り、途中で
 学問をやめるのは、織り物を途中で
 切ってしまうのと同じで、何の役にも
 立たなくなると戒めたのが「断機の戒
 め」である。

◆8月課題予告 (行書)
 子どもは母親から
 愛することを学ぶ
 モロア

★最も…(書体 楷書)
 カトー(前三三四、前四九)
 ローマの政治家、哲学者
 川は浅ければ浅いほど音をたて、川
 底の石や岩にあたっては音を立て、多
 少の岩にも波立ることなく悠々と流
 れる。それと同じように、小人物は小
 さなことでも拘泥して、すぐに騒ぎた
 てるが、大人物は大局に影響のない小
 事にこだわらず、目的に向かって悠々
 と進んでいくものである。

◆8月課題予告 (行書)
 子どもは母親から
 愛することを学ぶ
 モロア

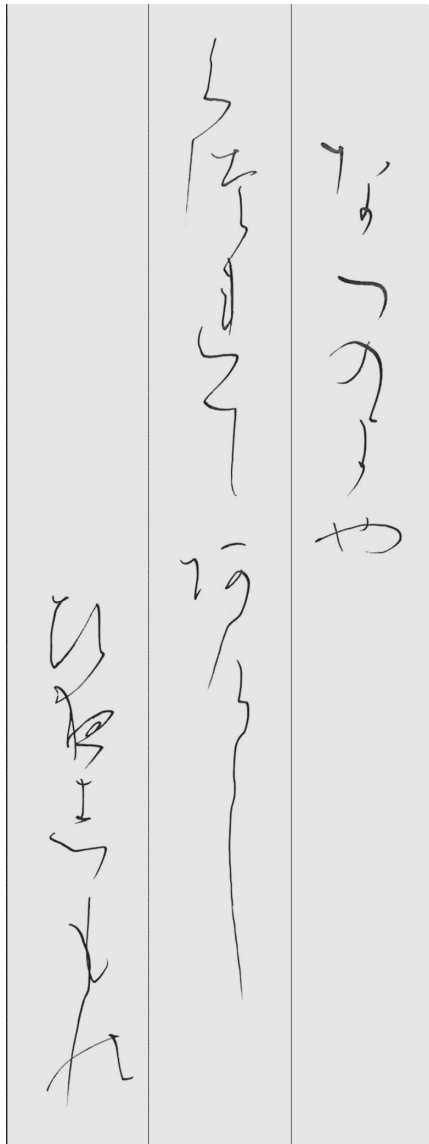
一般部かな課題

締切り 7月23日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

夏の夜や
崩れて明し
ひやしもの

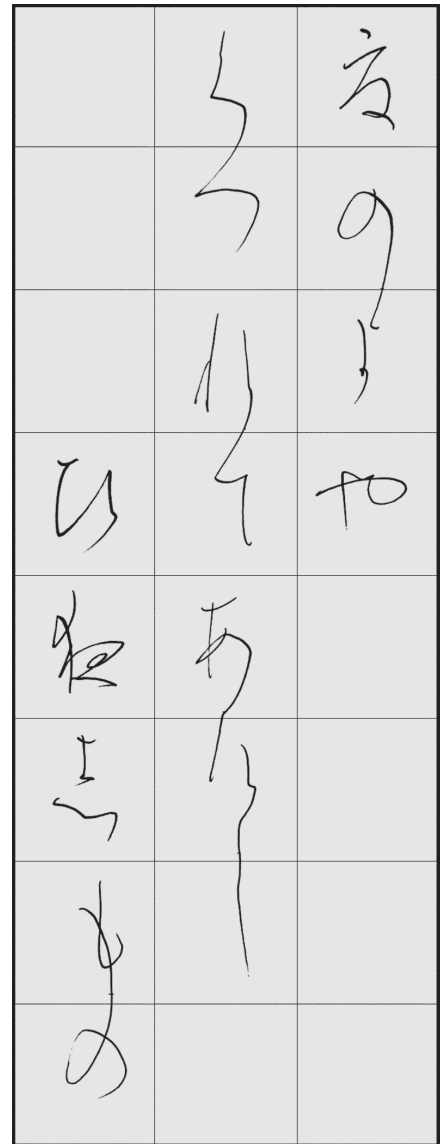


石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

夏の夜や
崩れて明し
ひやしもの



石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

夏の夜や崩れて明しひやし物
(芭蕉句集より)

〔出典〕元禄七年。笈日記。芭蕉・臥高・惟然・支考の連衆が、湖南曲翠亭に会した時の歌仙の発句。

〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名は宗房、別名は桃青・風羅坊。

〔大意〕夏の短い一夜がはや明けた。みると鉢の冷し物は、いつの間にか崩れてしまっている。歎を尽したあとの夜明け。短夜のはかなさに、形の崩れた冷し物が応ずる。

〔解説〕変体がなをよく理解してから、連綿の要領も会得して流れよくリズムを加味して書いてほしい。

※二字連綿のところはよく練習してほしい。筆圧は、一の句と三の句の始めで加えた。

〔古筆参考〕

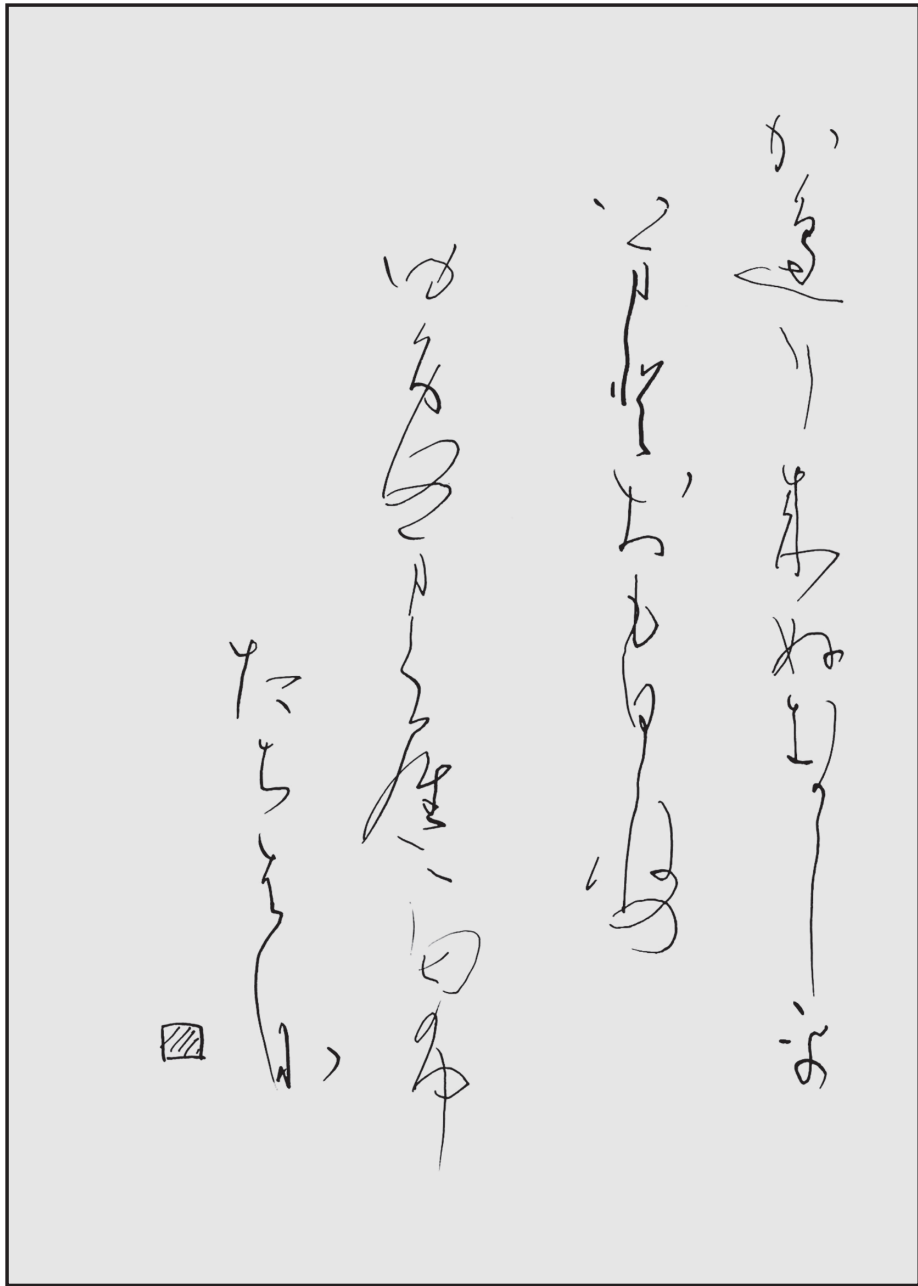
徒つ へ へ へ へ
連れ へ へ へ へ
介け へ へ へ へ
夜や へ へ へ へ
能の へ へ へ へ

◆8月課題予告

山陰や身を養はん瓜畑

締切り 七月二十三日(必着)

大迫秀湖書



か邊 米
 帰りこぬ 昔を今と思ひ寝の
 ゆ免 万久羅二 句 布
 夢の枕にほふたちばな 者 那

〔歌意〕

再び帰っては来ない昔を今にと思ひながら
 寝た夜の夢、その夢の中で昔は戻っていま
 ました。そして覚めた枕辺には橘が薫っていま。

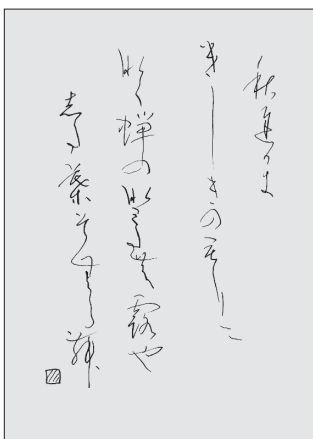
〔出典〕

新古今和歌集(新潮日本古典集成)

〔古筆参考〕

邊へ 通 通 通 通
 乎を 字 安 平 平 平
 登と 登 登 登 登
 免め 免 免 免 免
 羅ら 羅 羅 羅 羅
 布ふ 布 布 布 布
 者は 者 者 者 者
 那な 那 那 那 那

◆8月課題予告



秋近きけしきの杜に鳴く蟬の

涙の露や下葉染むらむ

締切り 7月23日(必着)

暑中お見舞い申し上げます
真夏の日ざしを浴びつゝ、元気に
ご活躍されていることでしょう。
今年の夏は猛暑のようですので、
くれぐれもご自愛下さいませよう
お祈り申し上げます。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本はつけペン使用

暑中お見舞い申し上げます
真夏の日ざしを浴びつゝ、元気に
ご活躍されていることでしょう。
今年の夏は猛暑のようですので、
くれぐれもご自愛下さいませよう
お祈り申し上げます。

横 書 き 課 題

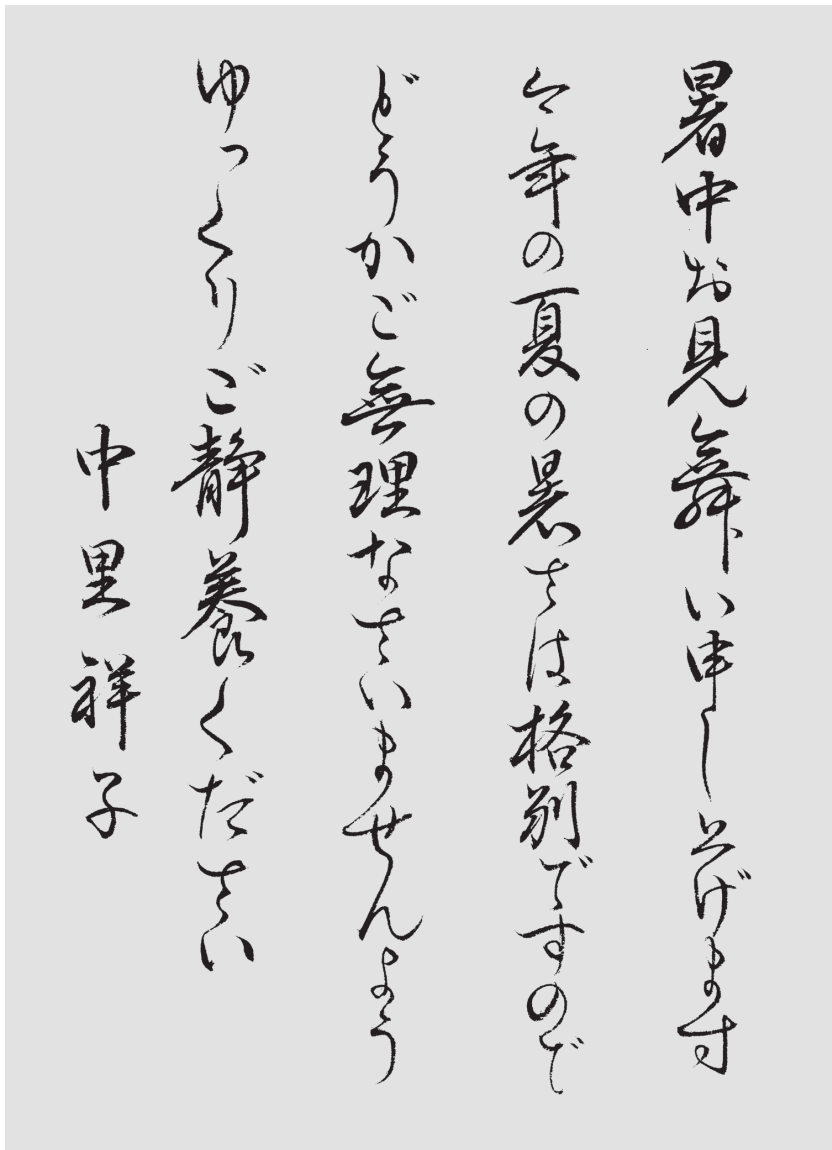
オリンピックの起源は、オリンピアの
丘で催された奉納競技に始まる。

奈良県葛城市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

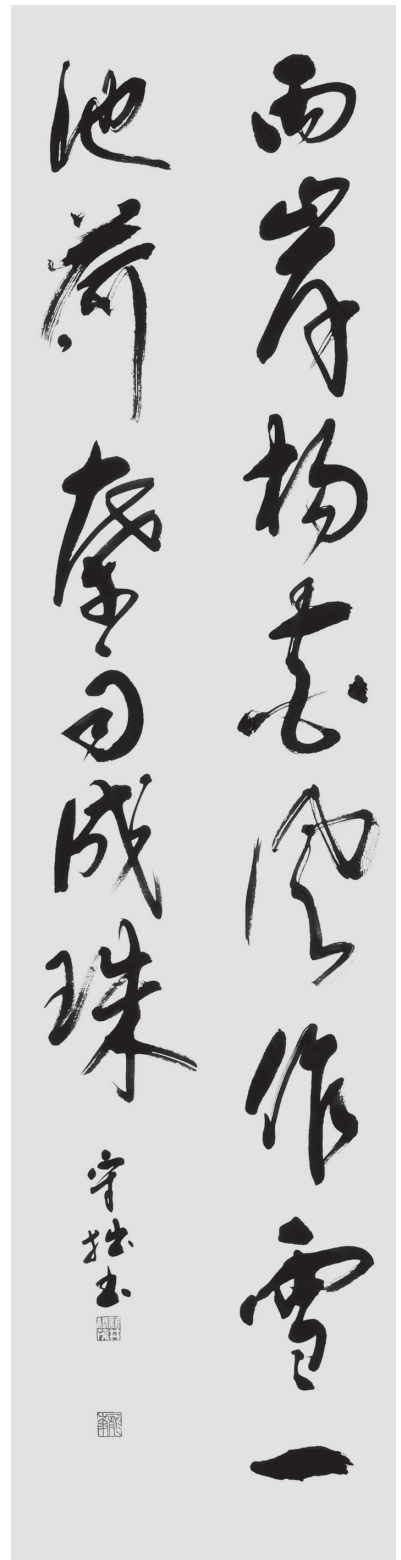
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 七月二十三日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

新井龍峰書

兩岸楊花風作雪

池荷葉雨成珠

陳潤

〔大意〕 兩岸の柳は花をとばして雪の如く、池一面の蓮の葉には雨がやどって珠をなす。初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕

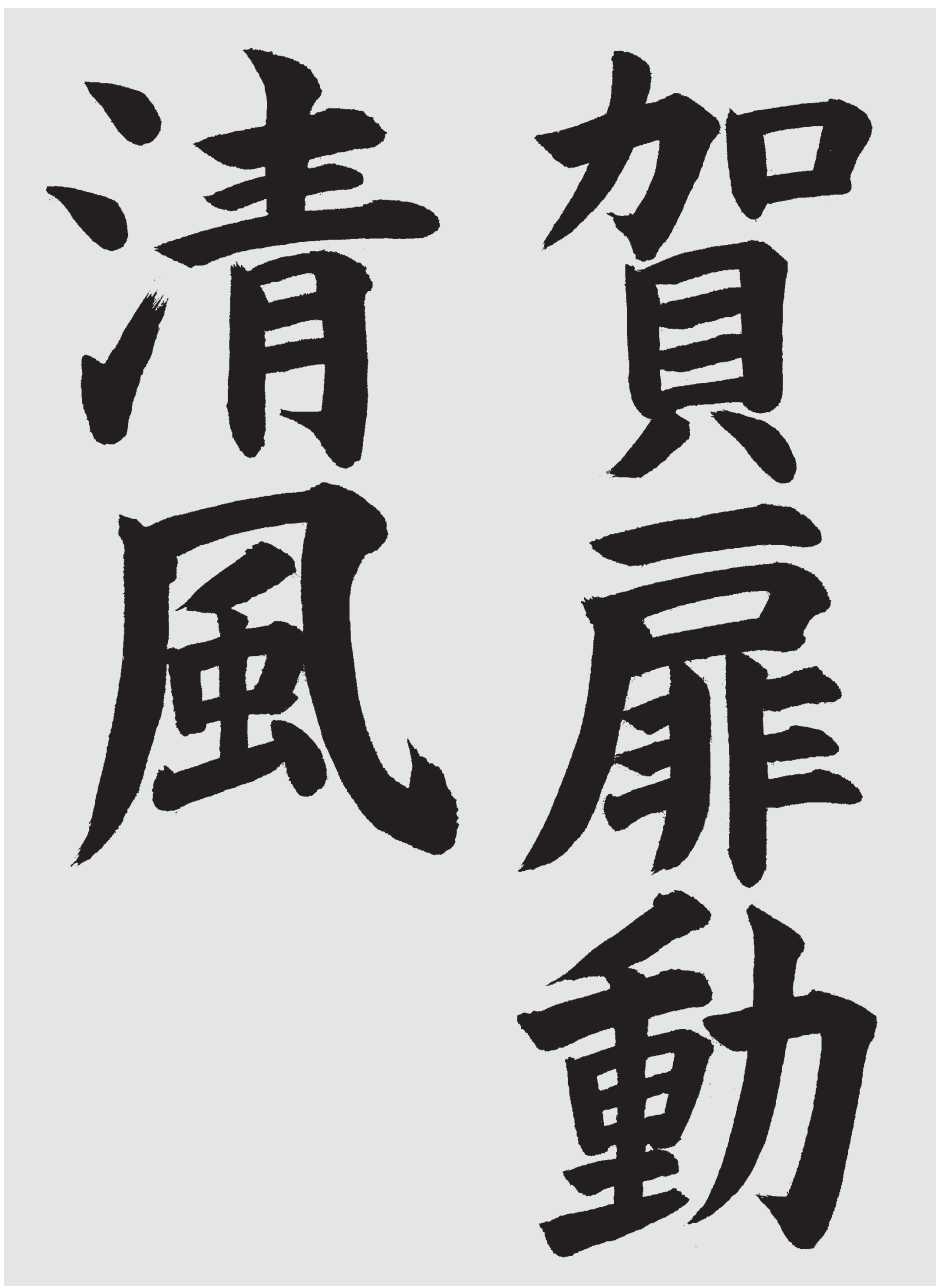
先日、中日新聞に掲載された記事の中で、元高校教諭の書家で日蓮宗の僧侶・梅谷拓宣さんの言葉が目にとまりましたので紹介します。書で大事にするのは「余白」。紙の白と調和しなければ文字は生かす、「人は文字と同じで周りに生かされている。自分も誰かの『余白』になっていければ」と。

- ・暑中お見舞い申し上げます
- ・今年の夏の暑さは格別ですので
- ・どうかご無理なさいませんよう
- ・ゆっくりご静養ください
- ・印で墨つぎしました。(ご自分の氏名)

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

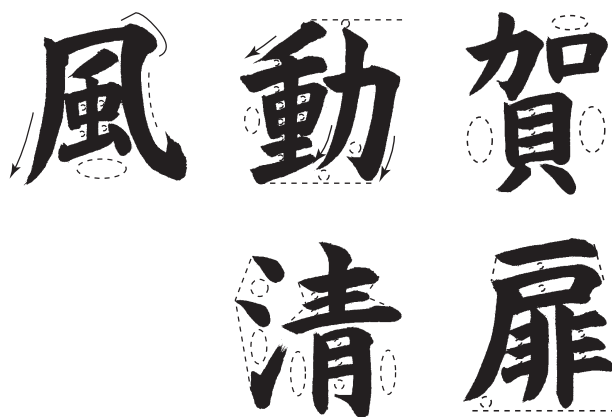


清し水すい翠すい芳ほう書

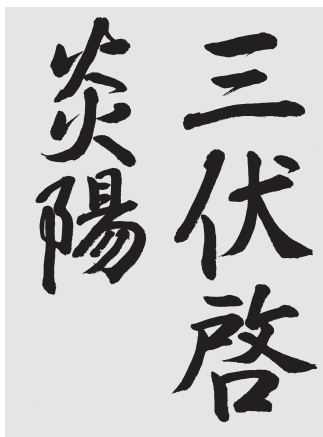
賀が扉せん動せい清ふう風をうごかす

〔大意〕祝儀用の扇を使えば清風が吹き満ちる。

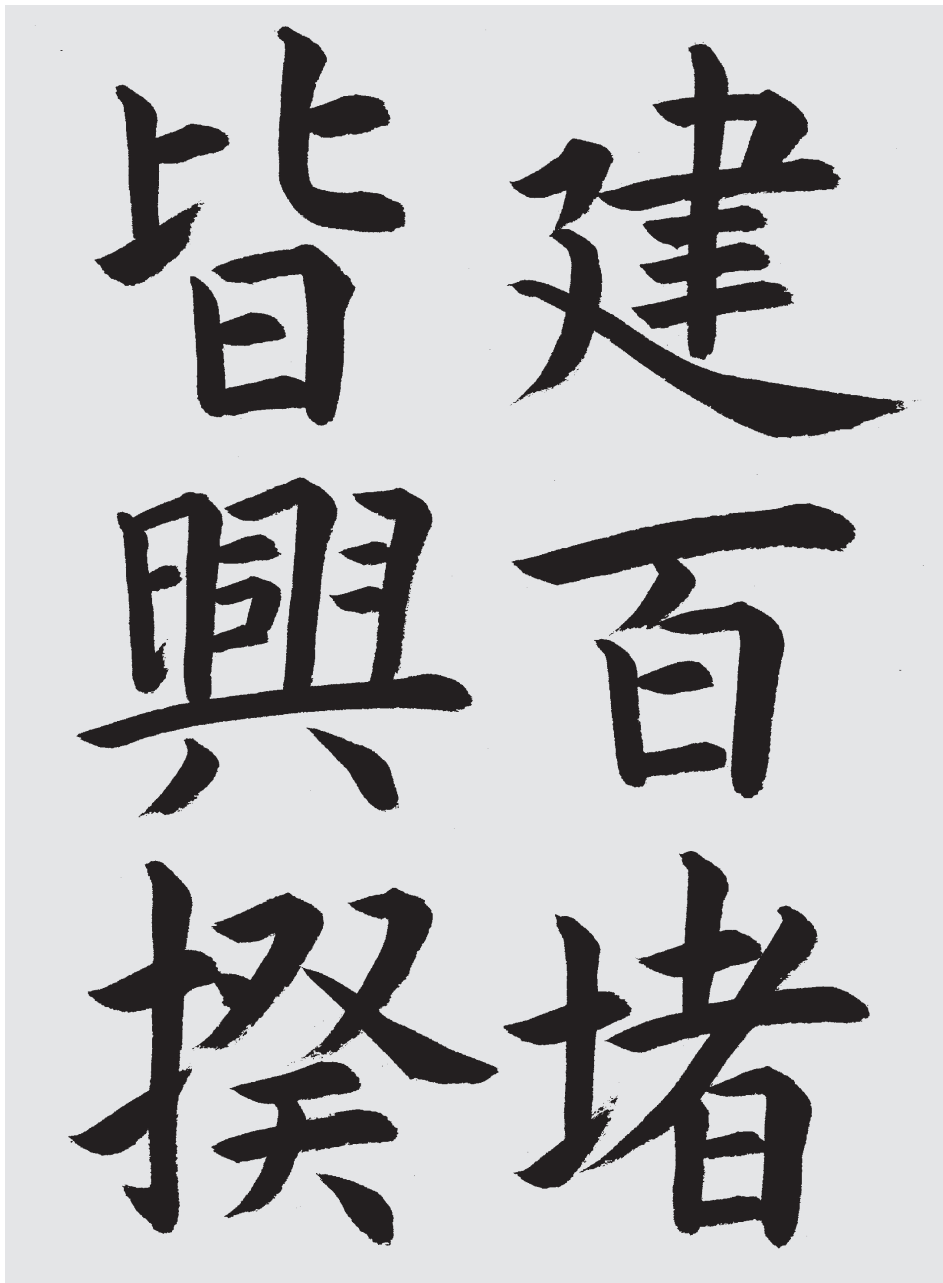
〔解説〕



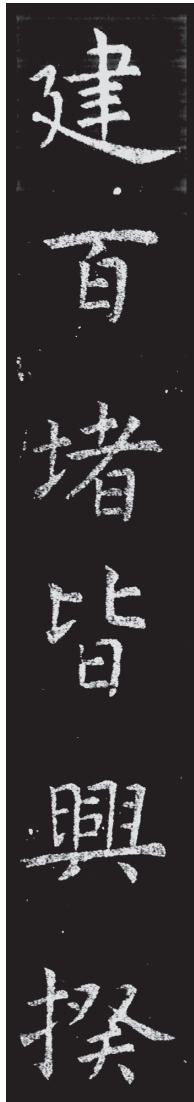
◆8月課題予告(行書)



準初段から師範まで



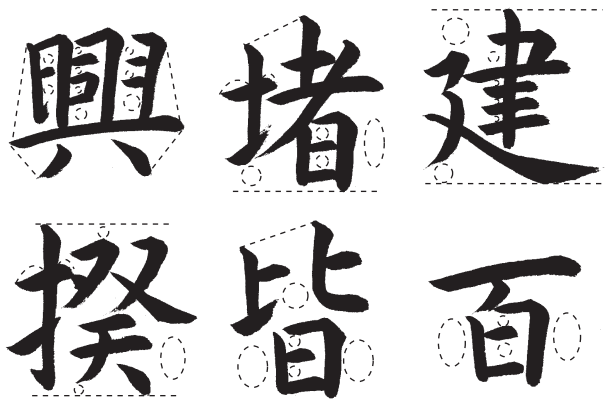
須田一葉臨



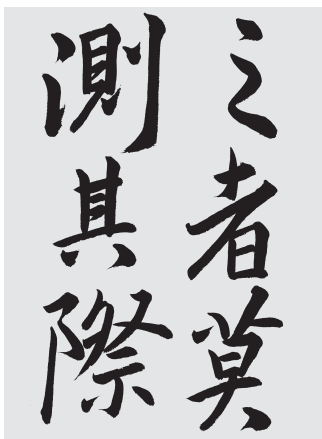
建
百
堵
皆
興
揆

〔出典〕孔子廟堂碑（六二六～六三三）
 〔筆者〕虞世南（五五八～六三八）
 〔読み〕（万雉斯に）建ち、百堵皆な
 興る。揆（日占屋して、）

〔解説〕

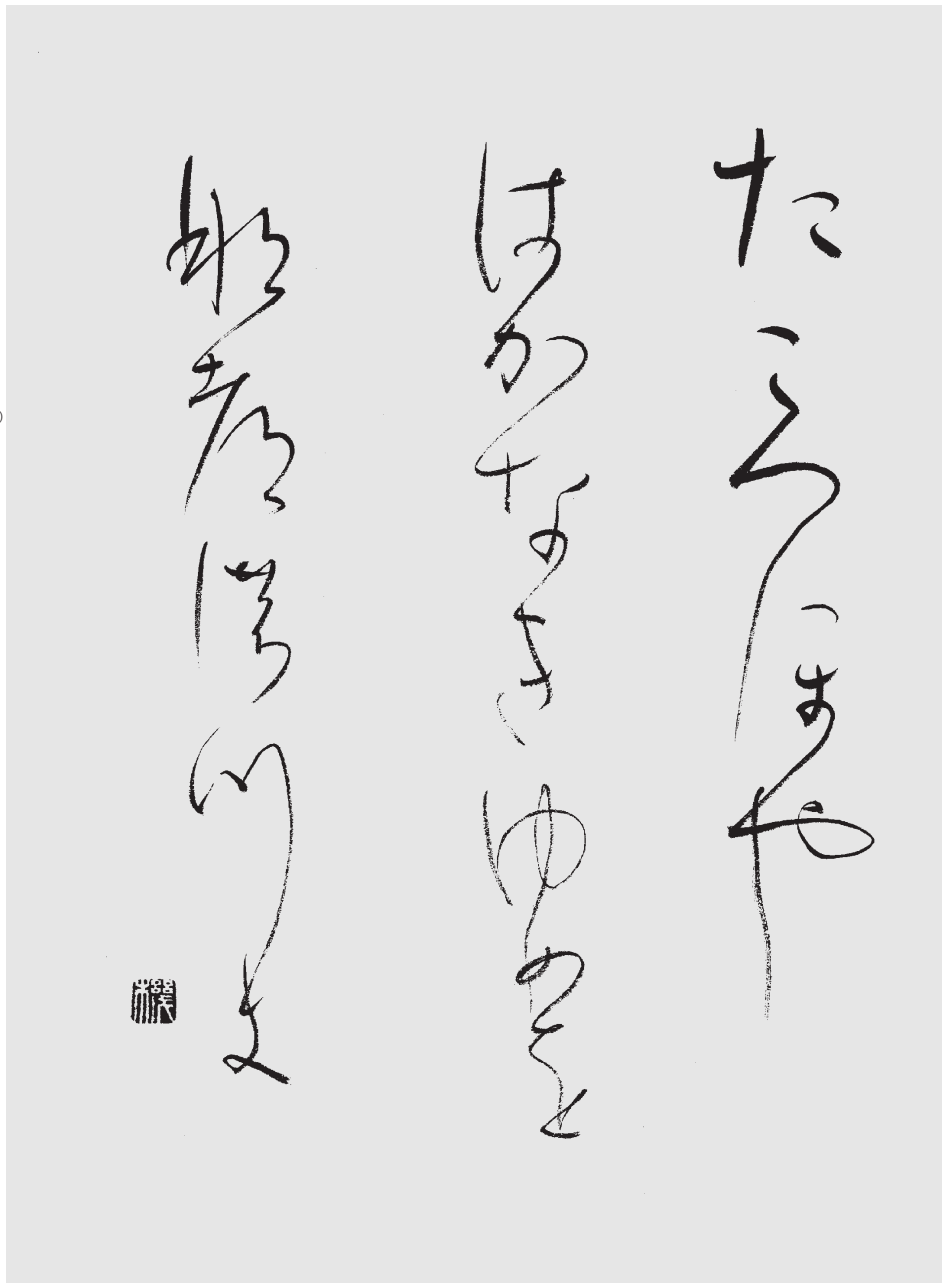


◆8月課題予告
 ※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書

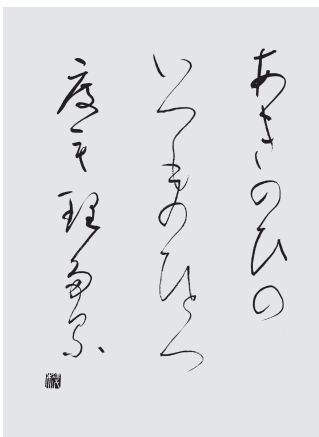


蛸壺たこつぼやはかなき夢ゆめを夏なつの月つき
那都濃川(州)
 松尾芭蕉まつおはしやう

〔句意〕

明易い夏の月が海上を照らしているが、海底では引き上げられるのも知らず、蛸が壺の中で一時の夢を結んでいることであらう、の意。

〔古筆参考〕



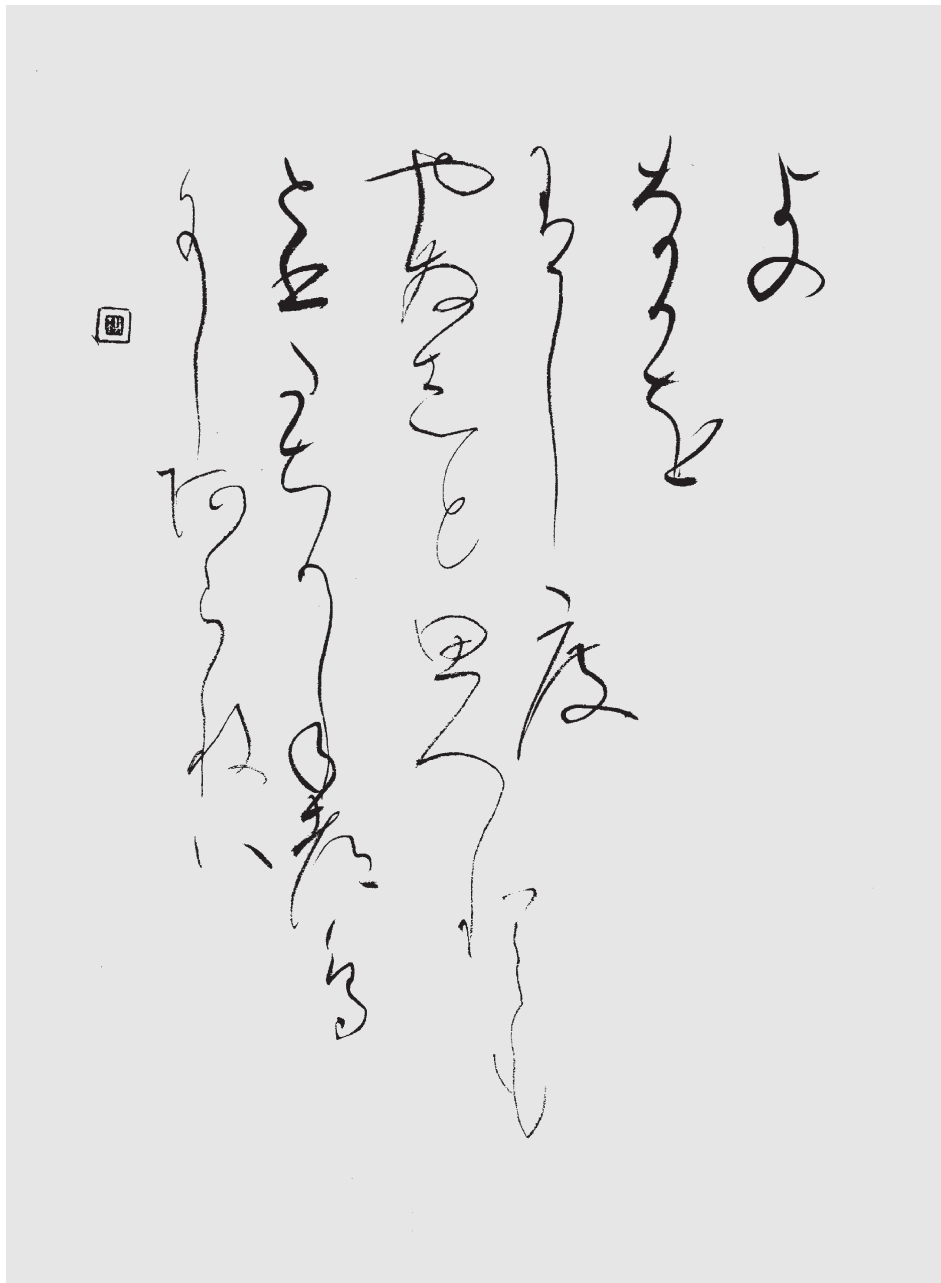
秋の灯のいつものひとつとありたる

◆8月課題予告

那な 那な 那な
 都っ 都 都 都
 濃の 濃 濃 濃
 川(州) 川 川 川
 支き 支 支 支

準初段から師範まで

浅井機山先生書



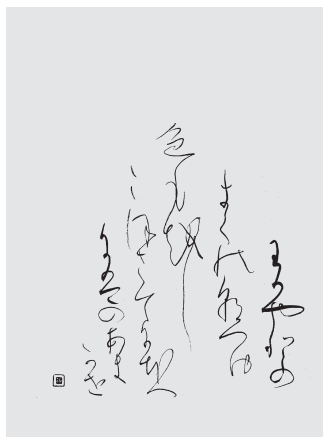
よの登可
世間を憂有しと恥度しと思登へども
飛と多
び立可ちかね年つ鳥都にし尔ね阿ば八
山上憶良やまのつえのおくら

〔歌意〕 人の世を憂いとも恥ずかしいとも思うが、
飛び立って離れることはできない。鳥では
ないのだから。

〔古筆参考〕

有う 有う 有う 有う
散さ 散さ 散さ 散さ
登と 登と 登と 登と
悲ひ 悲ひ 悲ひ 悲ひ
都つ 都つ 都つ 都つ
尔に 尔に 尔に 尔に

◆8月課題予告



我がやどの菊きくの朝露あさつゆ色もをし
秋風あきかぜ
こぼさで匂へには

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

る	お
す	う
は	ち
ん	て

よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

み	か	車
に	ぞ	に
い	く	の
く	で	っ
よ	う	て

小
一
年

準初段以上

小二年

い	を	自
ひ	か	ゆ
つ	え	う
じ	る	に
雲	白	形

準初段以上

小三年

風	ら	外
け	れ	国
い	た	か
写	湖	ら
真	の	送

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

る	形
白	を
い	か
雲	え

新入〜1級

け	外
い	国
写	の
真	風

新入〜1級

〈用具〉自由(黒色に限る)

観	加
察	ぶ
研	と
究	虫

新入1級

察	ぶ	夏
と	と	休
研	虫	み
究	の	は
を	観	か

小四年

準初段以上

小四年以上
前 嶋 玉 華 書

数	快
増	速
便	電
利	車

解説(よく見て習いましょう)

便	本	快
利	数	速
に	が	電
な	増	車
る	え	の

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

用具自由(黒色に限る)

コウ 行	子
アン 案	ども 供
ナイ 内	カイ 会
ジョウ 状	リョ 旅

解説(よく見て習いましょう)

届	行	子
き	案	供
ま	内	会
し	状	の
た	か	旅

小六年

(全員)

に	動	夕
擬	物	コ
態	で	は
す	周	軟
る	団	体

中二・三年

(行書)

い	き	悪
梅	待	天
雨	ち	候
明	遠	か
け	し	続

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 くま がい か よ 熊 谷 佳 代 書

花	元	ま	太	ひ
を	気	っ	陽	ま
さ	い	す	の	わ
か	っ	ぐ	ほ	り
せ	ぱ	見	う	が
る	い	て	を	
	に			

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 7月23日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 いし かわ みな よ 石 河 美 奈 世 書

歡	こ	せ	緑	サ
声	ん	め	の	ツ
が	身	ぎ	芝	カ
起	の	合	生	ー
こ	一	う	の	世
こ	撃		上	界
る	に		で	戦

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





小五 便利

小三 外国

止め 究 外
 便 国
 利 研

小四 研究究

小三、小五年

柴田桃花書

中
二
三

動軟

状案

小六
中二・三年

永谷
恵子
書

物体

小
六

内

※行書は、連続する線をリズムよく書こう。

雨

案

動

状

物

梅

中
二

明梅

け雨